



高嶺中学校編 Vol.1

いとまん探訪

秘書防災課
☎840-8118



いとまん探訪始動！
将来を担う子どもたちに地域の魅力を再発見してもらうことを目的に、地域の子どもたちと広報いとまん担当がコラボし、子どもたちが調べた子どもたちの目線で感じる地域の魅力などを紹介します。
この企画は不定期で掲載していくので、地域の魅力を紹介したいという子どもたちは広報いとまん担当まで連絡をください。
記念すべき第1回目は、高嶺中学校の生徒たちです。
今回生徒たちが紹介してくれるのは、夏の納涼スポットで有名な「嘉手志川」と地域の人以上なかな知られていないかもしれない「うびー川」です。生徒たちが取材や紙面の構成などを一生懸命考えてくれましたので、ぜひ読んでみてください。

SPOTLIGHT
今月の
スポットライト
さん No. 62

しもじょう こあ しゅんた
下門 心愛さん・瞬太くん
きょうだい揃って受賞報告

第43回沖縄ピアノコンクール小学校中学年の部で金賞を受賞した光洋小5年の下門心愛さん、全日本ピアノコンクール2022小学校低学年部門で技能賞を受賞した光洋小2年の下門瞬太くんが糸満市役所を訪れ、コンクールの受賞報告をしました。心愛さんは「お母さんと一緒に毎日2時間の練習を頑張りました」と、瞬太くんは「曲を通して弾くことや、速く弾くこと、間違いを減らすことを意識して頑張りました。受賞できてうれしいです」と緊張した様子で話してくれました。



地域おこし協力隊 ルドさんが行く
「いい正月でございます」とウチナーグチの挨拶ですね。1月22日は太陽太陰暦の元日でした。海の呼吸に合わせて生きているイチャムチュにとつて、とても大事にされている日です。先月のコラに宣伝していたとおり、くる糸満の常設展と糸満漁港を案内する特別な「旧正月大漁旗ツアー」を実施しました。
他県で鏡餅に相当する「ウチャヌク」の下に敷く「アカカビ」の3色（赤・黄・白）の紙は人体の皮膚・肉・骨や朝・昼・夜を意味するという説。また、大漁旗は昔、網元が網子に大漁のお祝いとして配っていた萬祝着（マイウィギ）が旗として使われていた由来説など、旧正月に家に飾るものや、漁港に来て何気なく「格好いいね！」と見ている大漁旗について、少し深掘りしたガイドをすることによって、これまでの視点を変えた糸満の魅力を再発見する試みでした。参加していただいた方のコメント以上、一人一人興味津々に質問している姿と驚いている顔を見て、今回の計画は成功だと感じました。
我が市をはじめ、沖縄において行事は多いことが有名です。ただ、口頭伝承の文化で文字が残っていないため、各行事の由来や詳細などが伝えきれなくて、各家庭でやること・やり方などが少し異なっていて、無数の「マイクロ文化」が生じています。今回のツアー



の中、参加者にもお家でという過ごし方をしていると何う機会があつて、過ごし方が千差万別で面白い話がきけました。普段、観光客向けの仕事をしている自分にとつて、とても新鮮な企画でした。やっぱり、観光を面白くするために、異なる視点が欠かせないです。
今回は市民向けのツアーでしたが、市外や県外の方も参加していて嬉しかったです。そして、漁協共同組合の協力も得て、日本産の新型EVも利用しながら、観光を推進する企画で、糸満において、まさに「6次産業化」の可能性を実感しました。早速、テーマを変えて次は「糸満の水」ツアーを計画中です。詳細は後日になりますが、たくさんの方に参加されることを期待しています。

沖縄県糸満市 Itoman City

■人口			■火災・救急		
	12月	前月比		12月	前年比
人口	62,558	-29	火災	2件 (11件)	0 (-16件)
男	31,705	-19	救急	299件 (3724件)	26 (781)
女	30,853	-10			
世帯数	28,072	7			

※()内は令和4年の累計

■面積 46.60Km² (2021年10月1日現在)
■市の花木 ブーゲンビレア ■市の木 ガジュマル
■市の花 日野草 ■市の魚 タマン
(人口、世帯数、火災・救急件数は2022年12月末現在)

広報 いとまん

「声の広報」届けます

目の不自由な人に糸満市の情報を届けるため、広報いとまんをCDに吹き込み配布しています。「声の広報」を希望する人は、秘書防災課(☎840-8118)まで問い合わせてください。

ラジオ広報・市役所便り (FMたまん)

- 月～金
 - ① 7時45分～7時50分
 - ② 12時55分～13時
 - ③ 17時55分～18時
- 土～日
 - ④ 12時55分～13時